

# 愛知県神社庁設立七十周年記念

## 愛知県神社関係者大会 開催さる



記念大会



物故者慰霊祭

11月28日、愛知県下の神職・氏子総代・敬神婦人会役員など1,957名が参加し、愛知県神社関係者大会が愛知県神社庁設立70周年記念の大会として名古屋市公会堂を会場に開催されました。

まず、武田正典県祭祀委員長を斎主とし、神社物故者慰霊祭を斎行。次に神宮遥拝、国家斉唱、敬神生活の綱領唱和、牧野武彦愛知県神社庁副庁長の開会の辞に続いて功労者表彰が行われ、神宮大宮司表彰、愛知県神社庁表彰など個人・団体合わせて400名余がその栄に浴しました。



小串庁長挨拶

次に小串和夫愛知県神社庁長が、

「昭和20年8月15日に大東亜戦争が終結してのち、我が国は敗戦という憂き目を見たわけでございます。その年の12月15日にGHQより神道指令が発せられ、それが神社の存亡に関わるほどの大変過酷なものであったわけであります。そういう中、我々の先人は英知を結集して、神宮様を本宗と戴き、全国八万の神社が結集した組織として、神社本庁が設立されたわけ

であります。それから数えて70年になるわけであります。愛知県においては翌21年1月29日に愛知県神社庁の設立総会が県の議事堂で開催され、それを承けて2月19日に愛知県神社庁が設立されました。11月13日に神社庁設立奉告祭

という祭典が執り行われると同時に神宮大麻頒布始祭・物故者慰霊祭・第一回神社本庁総会が実施されております。神宮奉賛も皆さま方のお力で大きな成績を収めているわけです。先人を始め、本日ご参会の皆さんに至る大変多くの方々の並々ならぬご尽力の賜物でありますことを感謝申し上げます。」と挨拶。

続いて県神社総代会会長挨拶（代理副会長大森一人氏）、神社本庁統理告辞（代理神社本庁総長田中恆清氏）、神宮大宮司祝辞（代理神宮禰宜宮川清彦氏）、来賓紹介、祝電披露。その後、大会宣言文を大島義央愛知県神道青年会会長が朗読し、全会一致で決議されました。

続いて米国カリフォルニア州弁護士のケント・ギルバート氏による「誇りある日本の再生と自主憲法制定」と題する講演が行われました。講演終了後、神尾俊治県氏子総代会副会長の先導により聖寿の万歳を三唱、白井清夫愛知県神社本庁副会長の閉会の辞をもって大会が終了しました。

